

教育講演会 自閉症児のためにできること

人権とコミュニケーション

講師 大阪大学大学院教授 奥平 俊六@ダダ父

9月3日(水)、昨年度に引き続き、ダダ父さんと大阪大学大学院教授 奥平俊六先生の講演会が大阪府教育センター大ホールにておこなわれました。前回同様の大好評で、参加者は207名でした。



以下に参加者の感想をいくつかあげさせていただきます。

- ・本当に障害児たちは自己決定の場を与えてもらっているのだろうか?と日頃から気になっていました。講演のおかげで自分がやろうとしていたことが間違っていなかったと確信できました。
- ・本人からの選択・拒否がどれほど大事なのかよくわかりました。こちらからのさせたい事を考えるのではなく、常に本人の立場を考える事、大切にしていきたいです。

・自閉症の人の立場で、より良い支援について考え、工夫しつづけている様子、そして、それを周りに広げている様子がとてもよく伝わってきました。まず、自分もやり始めようと思いました。

・視覚支援 子供本人が楽な様に、好きな事につながる様に!基本として考えていきたいです。

・「便利な人」についてのお話がよく胸におちました。教師であろうとする自分がよい援助者と反対の行動をしていたことに気づきました。

他にも多数感想をいただきました。



本当に実践に生かせる話、元気が出る話でした。奥平先生のホームページは「ダダ父通信」
<http://www.nucl.nagoya-u.ac.jp/~taco/dada/>
です。